西日本新聞　(明治25年3月26日第3種郵便物認可)　第44819号　(日刊)

灯油高 RDFピンチ

ごみ処理単価 30―100%増

05―08年度 19市町村財政 圧迫

福岡・熊本7施設

福岡・熊本両県の広域行政組合などが可燃ごみを集めて固形燃料（RDF）に処理するRDF製造七施設で、乾燥・脱臭に必要な灯油価格の値上がりに伴い、ごみ処理単価が二〇〇五年度から〇八年度にかけて30―100%上がっていることが三日、西日本新聞の調べで分かった。灯油価格の高騰に歯止めがかかる気配はなく、急激なコスト増は事業に参加する十九市町村の財政を一段と圧迫するとみられる。

福岡県大牟田市と熊本県荒尾市でつくる「大牟田・荒尾清掃施設組合」は〇七年度、約五万四千トンのごみを約十七億四千万円で処理、うち灯油代が約三億円を占めた。〇五年度に一リットル五十五円だった灯油は〇七年度に七十円に上昇。〇八年度予算は一トン当たりの処理単価を〇五年度の70%増と見込んだ。

予算編成時は灯油価格を一リットル七十円と想定したが、実情は既に百二十円を突破。年平均三十円高で単純計算しても、灯油代は約一億二千五百万円増え、処理単価は〇五年度比80%増となる。「負担がどのくらい増えるか想像も付かない」（大牟田市）状態だ。

熊本県菊池市は、〇八年度のごみ処理単価を〇五年度の約二倍の約六万三千五百円に設定して予算化。それでも予想以上の灯油単価の上昇に、処理単価は予算を上回るとみられる。

一般的な焼却炉（ストーカ炉）での処理と比べた場合、RDF処理のコスト高がより際立ってきた。同じ菊池市でも旧泗水町が処理を委託する「菊池環境保全組合」はストーカ炉を使用。同組合は〇八年度のごみ処理単価を約三万円と見込む。

採算悪化 迫られる見直し

【解説】「理想の広域ごみ処理システム」として福岡県が推進してきた、ごみ固形燃料（RDF）発電事業は原油高騰によるRDF製造のコストアップと、ごみ減量化に伴う発電事業の採算悪化というダブルパンチを受け、岐路にさしかかっている。

全国に先駆け同事業に乗り出した三重県は、現状のままでは二〇一六年度末の累積赤字が三十三億円に上ると試算。RDF焼却処理料（一トン約五千円）を二倍近く値上げして福岡県が推進してきた、ごみ固形燃料（RDF）発電事業は原油高騰によるRDF製造のコストアップと、ごみ減量化に伴う発電事業の採算悪化というダブルパンチを受け、岐路にさしかかっている。

全国に先駆け同事業に乗り出した三重県は、現状のままでは二〇一六年度末の累積赤字が三十三億円に上ると試算。RDF製造は、ごみが含む40―50%の水分を8%以下にするための乾燥や悪臭・有害物質を分解する脱臭炉に大量の灯油を使う。この灯油の価格上昇などがコストを急激に押し上げている。

RDFを燃料とする「大牟田リサイクル発電」は最近のごみ減量化を反映して、RDF焼却処理委託料や売電による収入が減少。〇七年度決算で累積赤字が約七億八千百万円、債務超過も約一億六千百万円に達した。

環境総合研究所の鷹取敦調査部長は「RDFは製造過程と運搬に大量の石油を消費する。二酸化炭素排出など環境面でも問題が多い」と指摘する。

同事業の計画期間は一七年度までだが、福岡県は厳密なコスト計算を行い、早急に新たな処理方法の検討に着手すべきだ。

（大牟田支局・笠島達也）

RDF

可燃ごみを細かく砕き、灯油ボイラーで500度近い熱風を送って水分を飛ばした上、消石灰を混ぜて長さ3―5㌢のクレヨン状に固めた燃料。福岡県や電源開発などが出資する第三セクターの大牟田リサイクル発電所（福岡県大牟田市）で焼却されている。ダイオキシン発生を抑えるため、ごみの高温連続燃焼が義務付けられたことから、小規模自治体のごみを固形燃料化、大規模施設に集約するシステムとして導入された。

クードBOX

天気

概況

4日の九州は梅雨前線の活動が弱まるため、次第に晴れ間が広がる。最高気温は33―26度で蒸し暑い。強い紫外線と熱中症に注意。

きょう	朝 6時～	昼 12時～	夜 18時～	降水確率	風向	最高気温	最低気温	あす	降水確率	最高気温	最低気温
福岡	曇	晴	晴	10	北	31	24	晴	20	31	24
北九州	晴	晴	晴	10	北	30	23	晴	20	30	24
筑豊	曇	晴	晴	10	北	32	24	晴	20	31	24
筑後	晴	晴	晴	10	北	31	24	晴	20	31	24
佐賀北	曇	晴	晴	10	北	31	23	晴	20	29	24
佐賀南	晴	晴	晴	10	北	31	23	晴	20	31	24

西日本新聞

発行所 西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目4番1号（〒810－8721）
©西日本新聞社 2008年

7月4日（金曜日）

電話 092(711)5555(代)
社会部 5222　経済部 5210
地域報道センター 5225　文化部 5260　運動部 5230

紙面の問い合わせ
読者室 092(711)5331
平日10～18時　土曜～14時（日・祝日休み）

購読・配達の案内
0120-44-0120（7～21時）

ホームページ
http://nishinippon.co.jp/

けさの紙面

ラクテンチが撤退検討
タカ5連敗で貯金ゼロ
刑務所返却ナタが凶器
▼社説「沖縄戦と原爆」「スータンPKO」